

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年9月12日

1. 救急外来を受診した急性呼吸不全を伴うRSウイルス感染症の重症化因子：重症化・死亡は喫煙で7倍以上（意識）
2. RSVワクチンやっと実用化
3. チャールソン指数

## 【松崎雑感】

Covid 19で検索してヒットした論文です。RSウイルス感染症はタバコを吸うと、7倍以上重症化することです。今年の5月にGSKのワクチン（組み換え蛋白ワクチン）がFDAに承認されました。日本の厚労省も承認しましたので、近い将来このワクチン接種が始まるのでしょうか。高齢者はインフル＋新型コロナ＋RSVワクチンを打つことになるのでしょうか。小児のように、副反応の少ない3種混合ワクチンを作ってほしいです。

松崎道幸 道北勤医協ながやま医院 [matsuzaki-m@dohoku-kinikyo.or.jp](mailto:matsuzaki-m@dohoku-kinikyo.or.jp)

救急外来を受診した急性呼吸不全を伴うRSウイルス感染症の重症化因子：重症化・死亡は喫煙で7倍以上（意識）

Santus P, Radovanovic D, Gismondo MR, et al. **Respiratory syncytial virus burden and risk factors for severe disease in patients presenting to the emergency department with flu-like symptoms or acute respiratory failure** [published online ahead of print, 2023 Sep 6]. *Respir Med*. 2023;107404. doi:10.1016/j.rmed.2023.107404

## 背景

RSウイルス感染およびその重症化をもたらす因子は明らかにされていない。RSウイルス感染症を促進する因子と重症化をもたらす因子を調査した。

## 方法

2022年秋から2023年冬の時期に、ミラノのサッコ大学病院を受診した急性呼吸器感染症例について、新型コロナウイルス、RSV、インフルエンザウイルス感染の有無を調査し、後顧的コホート調査を行った。呼吸不全、人工呼吸器治療、ショック、敗血症、入院中死亡例を重症例と定義した。

## 結果

呼吸器感染症例717名中、インフルエンザ陽性14.1%、RSV陽性、新型コロナウイルス陽性8.6%、その他のウイルス陽性3.6%、ウイルス未検出65.1%。各種ウイルス感染のうち、RSV感染者が、最も急性呼吸不全（62.7%）、重症化（70.5%）が多かった。RSV死亡率はインフルエンザと差がなかった（6.6%対5.9%、 $p=0.874$ ）。RSV感染者はインフルエンザ感染者よりも、**高齢**（ $p=0.009$ ）、チャールソンリスク指数（**末尾スライド参照**）が高く（ $p=0.001$ ）、**慢性心不全**あり（ $p=0.001$ ）、**ステロイド**ホルモン（ $p=0.026$ ）、**免疫抑制剤**（ $p=0.018$ ）を投与されている患者に多かった。**心不全**（オッズ比3.286）、ステロイドホルモン長期投与（オッズ比2.377）、免疫抑制剤投与（オッズ比3.661）がある場合、RSV感染であること事が有意に多く見られた。RSV感染重症化をもたらすリスク因子は、120以上の空腹時**血糖**（オッズ比5.839）、8000以上の**好中球数**（オッズ比5.929）、**現在あるいは過去喫煙者**（オッズ比7.347）だった。

## 結論

RSウイルス感染症は重症化率と死亡率が高かった。高齢者、心臓病・慢性呼吸器疾患を持つ人々は、重症化と死亡を防ぐためにRSVワクチン接種をはじめとする予防対策をしっかりと講ずるべきである。

## 今年の5月に、大人向けRSVワクチンが登場

[米FDA、世界初のRSウイルスワクチン承認 GSK製 - 日本経済新聞 \(nikkei.com\)](#)

2023年5月4日

米食品医薬品局（FDA）は3日、世界で初めてとなる呼吸器合胞体ウイルス（RSV）感染症向けワクチンを承認した。英グラクソ・スミスクライン（GSK）製のワクチンで、**60歳以上の高齢者を対象とする**。これまでこの感染症に対応する有効なワクチンがなかったため、承認への注目が集まっていた。

米疾病対策センター（CDC）は6月にワクチン接種について議論する諮問委員会を開催する予定で、これを踏まえてCDCが推奨すれば接種を始められる。

RSVワクチンをめぐる競争はこの一年で激化した。GSK以外に[ファイザー](#)や[モデルナ](#)もFDA承認を目指しており、米ファイザーも承認についての結果が5月中に出る見通しだ。モデルナのポール・バートン最高医療責任者（CMO）はFDAの承認が下りるのは「2023年後半か24年初頭を見込んでいる」と1月に日本経済新聞の取材で明らかにしていた。

米国立アレルギー感染症研究所（NIAID）の推定によると、米国ではRSVが原因で年間に約1万4000人の65歳以上の高齢者が死亡している。世界では毎年6400万人が感染し、死亡者は16万人にのぼる。

## 8月に厚労省が、大人向けRSVワクチン承認。何時から接種できるか？？

[RSウイルスワクチン承認へ 国内初、60歳以上向け - 日本経済新聞 \(nikkei.com\)](#)

2023年8月28日

発熱やせきなど風邪の症状を引き起こすRSウイルス（RSV）について、厚生労働省の専門部会は28日、英製薬大手グラクソ・スミスクラインが開発した**60歳以上向け**ワクチンの製造販売承認を了承した。厚労省担当者は「準備が整えば速やかに承認する」と説明している。国内初のRSV感染症ワクチンとなる。

RSVはほとんどの人が幼いうちに一度は感染するが、免疫の働きが低下した高齢者が感染した場合、肺炎などを起こし重症化するリスクが高い。日本では高齢者の年間およそ6万3千人の入院と4千人程度の死亡につながるとの推計もある。

今年5月に世界で初めて米国で承認された。日本では昨年10月に同社が承認申請していた。

開発されたワクチンはRSVの一部を基に作った**組み換えタンパクワクチン**と呼ばれるタイプ。治験（臨床試験）では**有効性82.6%**との結果が出ていた。〔共同〕

## チャールソン併存疾患指数 CCI (charlson comorbidity index)

各1点	心筋梗塞、うっ血性心不全、末梢動脈疾患、認知症、脳血管疾患、慢性肺疾患、膠原病、消化性潰瘍、軽度の肝疾患、合併症のない糖尿病
各2点	片麻痺、中等度~重度の腎疾患、合併症のある糖尿病、限局性固形がん、白血病、リンパ腫
各3点	中等度~重度の肝疾患
各6点	転移性固形がん、AIDS

\*以下のように年齢調整を行った上で疾患の点数を合計する

40歳以下: +0点	41~50歳: +1点	51~60歳: +2点
61~70歳: +3点	71~80歳: +4点	81歳以上: +5点